

## 第 1 号意見書案

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用  
しないよう改めて求める意見書

標記の意見書案を島本町議会会議規則第14条の規定により、  
次のとおり提出いたします。

令和 5 年 3 月 2 7 日 提出

提 出 者      島 本 町 議 会 議 員

川 嶋 玲 子	野 口 日 利 美
山 口 博 好	中 嶋 洵 智
大 久 保 孝 幸	福 嶋 保 雄
長 谷 川 順 子	中 田 み どり
平 井 均	伊 集 院 春 美
清 水 貞 治	戸 田 靖 子
永 山 優 子	

提案理由

国に対し、遺骨収集を迅速に進めるとともに、遺骨の散逸を  
防ぐ施策を講じるよう求めるため。

「沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに  
使用しないよう改めて求める意見書」

ロシアのウクライナに対する侵略は、子どもからお年寄りを巻き込む殺戮行為であり、一日も早く止めなければなりません。こうした状況下、戦争の残虐さと平和の大切さを実感せずにはおれません。

太平洋戦争末期、沖縄において約三ヶ月間にわたって激しい地上戦が行われました。その結果沖縄県外出身の日本軍兵士約6万6,000人、沖縄県出身の兵士や県民約12万2,000人など多くの尊い命が失われました。糸満市摩文仁の平和祈念公園にある「平和の礎」には、国籍・軍人・民間人の区別なく、沖縄戦等で亡くなられた24万1,686人の名前が刻まれています。その中には大阪府出身者の2,339人の兵士も含まれています。(昨年6月)

糸満市摩文仁を中心に広がる地域は、1972年(昭和47年)の本土復帰に伴い、戦争の悲惨さや命の尊さを認識し、戦没者の霊を心から慰めることを目的として、戦跡としては我が国唯一となる「沖縄戦跡国定公園」として指定されました。

しかし、沖縄戦で犠牲になられた兵士や民間の方がたの遺骨の多くは、戦後77年経過した今も土の中に残されており。現在、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」に基づき厚生労働省や沖縄県が中心となって遺骨収集事業が推し進められています。また「一日も早く遺骨や遺品を遺族のもとに帰してあげたい」という思いから、ボランティアによる遺骨収集も長い間取り組まれてきました。

遺骨収集を迅速に進めると同時に最新のDNA鑑定技術を駆使して、遺骨の特定を明らかにしていかなければなりません。そのためにも遺骨の散逸を防ぐ必要があります。そして一柱でも多くの遺骨を遺族のもとへ帰す努力をしてほしいと思います。

以上のような趣旨に基づき、下記の事項を決議していただく事を心から要望いたします。

## 記

- < 1 > 沖縄戦の戦没者の遺骨等が含まれている土砂を埋め立てに使用しないこと。
- < 2 > 日本で唯一住民を巻き込んだ地上戦があった沖縄の事情を考慮し、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」を遵守して、日本政府が主体となり戦没者の遺骨収集を積極的に実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 5 年 3 月 2 7 日

大阪府三島郡島本町議会

## 第 1 号決議案

### 気候非常事態宣言に関する決議

標記の決議案を島本町議会会議規則第14条の規定により、次のとおり提出いたします。

令和 5 年 3 月 2 7 日 提出

提出者 島本町議会議員

川 嶋 玲 子	野 口 日利美
山 口 博 好	中 嶋 洵 智
大久保 孝 幸	福 嶋 保 雄
長谷川 順 子	中 田 みどり
平 井 均	伊集院 春 美
清 水 貞 治	永 山 優 子

### 提案理由

町に対し、「気候非常事態宣言」を発令し、早期に地球温暖化の影響の緩和策と適応策を推進するよう強く求めるため。

## 気候非常事態宣言に関する決議

私たちのまち島本町は、大阪府と京都府境に位置し、緑濃い天王山と清らかな水無瀬川が織りなす自然豊かなまちです。また、さまざまな歴史ドラマの舞台となった悠久の文化が香るまちであり、古来から交通の要衝の地にある交通利便性に優れた住みよいまちです。

この豊かな環境から歴史や文化、生活、産業が多くの恵みを受け育まれました。

私たちは、誰もが良好で快適な環境を享受する基本的な権利を有していると同時に、次世代により良い環境を引き継ぐ責務があります。

しかしながら、物質的な豊かさや利便性を求めたことによる日常生活や事業活動に起因する地球温暖化の進行が、人類の生存基盤にも関わる地球規模の環境問題を引き起こす要因となっています。

このため、町民・事業者・町及び議会がこれまでの日常生活や事業活動を見直すことによって、課題を共有し行動していく事が重要です。

島本町に、島本町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）等、各種計画に一定のビジョンが示された現段階において、これまで以上に地球温暖化防止を推進するため、「気候非常事態宣言」を発令し、早期に影響の緩和策と適応策を推進することを強く求めます。

以上、決議する。

令和 5 年 3 月 27 日

大阪府三島郡島本町議会